

2025 すいせん図書

～本の森へ～

中学生

西東京市図書館





リストに掲載された本は
貸出・予約することができます(こちらから)。

「わたしは地下鉄です」

キムヒョウン 文・絵 万木森玲 訳／岩崎書店

わたしはきょうも走ります。まいにちおなじ道を、どこかから来て、どこかへ行く人たちをのせて。さて、今日も韓国・ソウルの地下鉄に、おなじみの顔が乗ってきました。電車の乗客はみな、顔も名前も知らない他人。だけどその一人一人に、目には見えない物語があるのです。それを知ると、不思議と見えてくるみんなの顔。読後は心があたたかくなる絵本です。



「全校生徒ラジオ」

有沢佳映 著／講談社

過疎の村の女子中学生、なつみ、橘、れなどん、モモは夏休みにポッドキャストを始める。全校生徒がこの4人しかいないから、その名も『全校生徒ラジオ』。内容は日常生活、家族のこと、観た映画の感想などの雑談。4人のポッドキャストの会話と、それを文字起こしするリスナーの男子中学生の独白でつづられる物語。

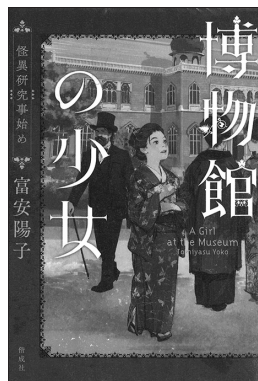
個性あふれる4人のにぎやかな会話が楽しい一冊。



「博物館の少女―怪異研究事始め―」

富安陽子 著／偕成社

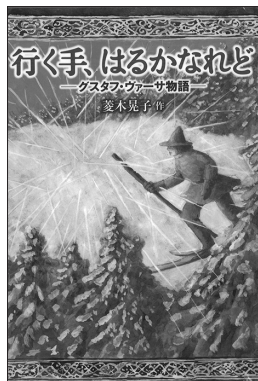
道具屋の娘花岡イカルは両親を亡くし、13歳で東京にきた。身を寄せた親戚の家で出会った絵師トヨの博物館行きに同行し、陳列された工芸品に感動する。イカルが弟子になりたいと館長に伝えると、古蔵作業の手伝いを言い渡されるが、そこは古くから怪異研究をやっている学問所であった。文明開化の明治時代を舞台に、イカルが不思議な事象に挑む痛快な物語。



「行く手、はるかなれどーグスタフ・ヴァーサ物語ー」

菱木晃子 作／徳間書店

16世紀初め、デンマークの^{あつせい}圧政に苦しむ^{くる}スウェーデン。
グスタフ・ヴァーサは、人質として^{とら}囚われていたが、国を救う
ためにデンマークから^{だっしゅつ}脱出してきた。しかし、スウェーデン
独立を目指していた父たちは殺され、グスタフの首にも
^{しょうきん}賞金がかけれ、一人で旅を続けることになる。「スウェーデン
^{けんこく}建国の父」と言われるグスタフの若き日の物語。



「優等生サバイバルー青春を生き抜く13の法則ー」

ファン・ヨンミ 作 キム・イネ 訳／評論社

ジュノが入学したのは、大学進学実績で有名な進学校。
高校生活のスタートはハードだった。首席で入学した「優等生」
だったけど、中間テストでは、全科目でできなくて惨敗した。
勉強だけではない。時事討論サークルへの入部、そしてある
女の子との出会い。悩みながら青春を生き抜く、韓国の
高校生のお話です。



「ダンス★フレンド」

カミラ・チェスター 作 櫛田理絵 訳 早川世詩男 絵／小峰書店

レオは「場面^{しょう}かんもく症」で、家族以外の前だと言葉が出な
くなるため、友だちなんてできるわけがないと思っていた。でも、
隣に引っ越してきた元気いっぱいなリカは、レオがしゃべらな
くても気にならないみたいで、そばにいてくれた。実は、リカには
大きな秘密があった。「だれだって完璧^{かんぺき}なんかじゃないんだ」。
レオはリカのためにできることを考え始める。

二人の友情を描いた物語。



「アンナの戦争—キンダートランスポートの少女の物語—」

ヘレン・ピーターズ 著 尾崎愛子 訳／偕成社

ダニエルのおばあちゃんは、戦争がはじまる前にドイツからイギリスにわたってきた。「おばあちゃん、ナチだったの？」学校でみんなが質問してきただけ、おばあちゃんはすごくいい人なんだ。ある日、おばあちゃんが話してくれたのはおどろくべき物語だった。

第二次世界大戦中の、^{ぼうけん}勇気ある少女の冒険物語です。



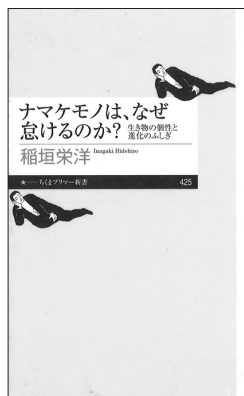
「ナマケモノは、なぜ怠けるのか?—生き物の個性と進化のふしぎ—」

稲垣栄洋 著／筑摩書房

一日中寝てばかりいるナマケモノ、嫌われ者のナメクジ、厄介なハエ。一見「つまらない」生き物たちだが、実は進化の最先端を走っている。

例えば、ナマケモノはほとんどエネルギーを消費しないので、エサも少しでいい。^{こ だち}木立の中で動かないナマケモノは、動くものを探す肉食動物の目には入らない。スローな動きで身を守っているのだ。

生き物の意外な一面を楽しめる一冊です。



「在日サッカー、国境を越える—国籍ってなんだ?—」

木村元彦 著／筑摩書房

在日朝鮮人のアン・ヨンハはプロサッカー選手になる夢をもつ19歳の浪人生。^{ろうにんせい}日本国籍のないヨンハが、Jリーグへはいるには、日本の大学を卒業し、チームに1人の「在日枠」を目指すしかなかった。そんなヨンハが出会ったのは、ただのサッカー好きな男。この出会いがヨンハのサッカー人生を変えていく。

「在日」の実情が少しわかるお話です。

